

特集

芸術の秋

うしく現代美術展に行こう!



CONTENTS ー主な内容ー

- 02-03 | 特集「第22回うしく現代美術展」
- 04 | 特別展「牛久藩主とその時代」
- 05 | 牛久市職員を募集します!
- 06 | 認可保育園・認定こども園 入園児童募集

ラーツク



©SHINOBU ARIGA



牛久市制施行30周年記念企画として友好都市グレーヴェ・イン・キアンティ市から彫刻家サラ・デル・ジュディチェ氏を招待し、同氏の作品展示や交流イベントを行います。

第22回うしく現代美術展「創生の交差点」

会期：11月20日(日)～12月4日(日) 時間：午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

会場：中央生涯学習センター

※11月28日(月)は休館日で、最終日は午後3時まで(入館は午後2時30分まで)。

問い合わせ うしく現代美術展実行委員会事務局(中央生涯学習センター内) ☎871-2301

芸術は生命を維持していくことに必要ではないかもしれませんが、人生を豊かに、そして人間らしく生きるためになくてはならない存在ではないでしょうか。私たちはこの地に暮らし、日々の生活の中で作品を作り、うしく現代美術展に作品を展示することで地域の皆さんとつながり、美を共感することによって喜びを味わいたいと願っています。

中村義孝委員長

うしく現代美術展は、地元作家を中心に市民・行政が連携して開催する地域に根ざした個性豊かな美術展です。第1回は、市制施行から10年を経た1995年に牛久市現代美術展として開催されました。昨年の入場者数は3200人を超え多くの方楽しんでいただきました。今年第22回展として、52名の作家が、平面・立体・クラフトの各ジャンルで、「創生の交差点」をテーマに作品を展示発表します。今回は牛久市制施行30周年記念企画も多数開催し、盛りだくさんの内容となっています。出品作家と市民の交流イベントとして今年も彫刻ワークショップも開催し、作家と市民が手で物を作ることを通じて交流を深めます。関連企画として、小中学校鑑賞会、学校移動美術展も開催しています。市内小中学校の児童・生徒が出品作家とより直接的な交流ができる貴重な機会です。芸術の秋、たくさんの美術作品に触れてみませんか。

彫刻ワークショップ

【日時】11月23日(水・祝) 午前10時～午後1時 【場所】中央生涯学習センター大講座室(1階)

うしく現代美術展では作家と市民の交流イベントとして、ワークショップを開催しています。今回は友好都市グレーヴェ・イン・キアンティ市から彫刻家サラ・デル・ジュディチェ氏を招待していますので、サラさんと出品作家が講師となって彫刻を制作します。※既にお申し込みいただいている方が対象です。

全てのイベントの入場・参加費は無料です

関連企画

小中学校鑑賞会

11月29日(火)・30日(水)・12月1日(木)・2日(金)

出品作家と市内全小中学校の児童生徒の大交流会です。出品作家が自分の作品の前で児童生徒に作品の説明をしたり、児童生徒からの質問に答えます。※当日は会場の混雑が予想されます。



学校移動美術展

12月6日(火)～16日(金)

美術教育の一環として、出品作家が市内各学校へ出向き、作品展示とワークショップを行っています。今年は牛久第二小学校で開催します。※原則として、一般には公開していません。



牛久市制施行30周年記念企画

牛久市制施行30周年記念企画として、①友好都市グレーヴェ・イン・キアンティ市から彫刻家サラ・デル・ジュディチェ氏を招待・同氏の作品展示、②同市の幼児・児童と牛久市内児童・生徒の作品交流展示、③ナイト・ミュージアムとしてギャラリー・コンサートと夜の鑑賞会を行います。サラさんにはギャラリー・トークやワークショップにも参加していただきます。グレーヴェ・イン・キアンティ市の幼児・児童の作品は47点、牛久市内児童・生徒の作品は15点展示予定です。盛りだくさんの内容です、ぜひご来場ください。

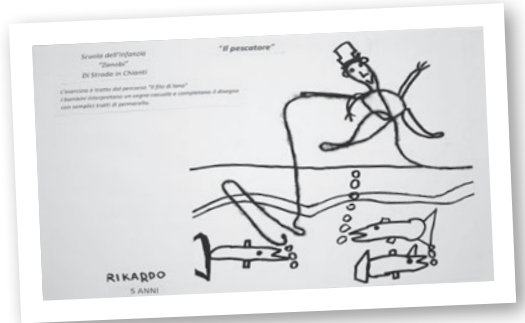
イタリア人彫刻家招待作品同時展示

Sarah Del Giudice (サラ・デル・ジュディチェ) 氏



鑄造所を持つ家庭で幼少期からたくさんの材料、色、匂いに囲まれ、多くの作品が作られていくのを見て育つ。粘土や蜜蝋を使って遊び、かばんや帽子、傘などを作る中で、いつしか自分の手を使って表現することが自身の言葉であることに気付く。「ブロンズが血管を流れている」と話すように金属を使うことが表現の媒体となる。フィレンツェのアカデミアで研究を深め、多くの芸術家と交流する中で彫刻の世界に大きな喜びと信頼の気持ちを持ったことがきっかけで本格的な制作活動に入る。制作にあたっては、ありのままの気持ちと表現したいことがはっきりしていることが大切と言う。

グレーヴェ・イン・キアンティの町はオリーブやブドウの畑にふちどられた柔らかな丘が続き、穏やかで美しい、人が住みやすい場所と語り、古い街並みと季節に応じて変わる四季の様子が素晴らしいと話す。今回のうしく現代美術展には「贈り物」と「ファーストキス」という作品を展示予定です。



▲グレーヴェ・イン・キアンティ市の子どもの絵。偶然できた毛糸の形から発想してペンだけを使い完成させた

ナイト・ミュージアム

くみる、きく、心をかさねる

11月23日(水・祝)午後6時～8時30分

夜の魔法、音と一緒に動き出す作品たち。牛久市制施行30周年記念企画として、アンサンブル・ダ・ヴィンチのチェロとピアノによるギャラリー・コンサートと夜の鑑賞会を行います。

夜、自分の内面に向きあう時間、作品と音楽がそれぞれの想いとともにも動き出します。一度きりの特別な空間にぜひ足を運んでみませんか。ご来場をお待ちしています。

展示ホール (第1部 午後6時15分～)

夜にひそむ優しさ～チェロの響き～
無伴奏チェロ組曲 第2番 (バッハ作曲) / 即興 / ソナタ (ヒンデミット作曲)より 他

多目的ホール (第2部 午後7時～)

光と闇 音の魔法で～チェロとピアノの2重奏～
ソナタ 二短調 (ドビュッシー作曲) / 一滴の涙 (ロッシーニ作曲) / 7つのスペイン民謡 (ファリャ作曲)より 他



アンサンブル・ダ・ヴィンチ

チェロはイタリア出身のリカルド・カリア氏、ピアノは板橋華子氏。アンサンブルという言葉は音楽用語で「合奏」「重奏」「合唱」の意味で使われますが、ここではフランス語の「一緒に」という意味に由来しています。表現を通じてたくさんの人やアーティストとつながりたいという思いで活動しています。FMうしくうれしく放送にも出演中です。